

第2回令和8年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和7年7月8日（火）13時30分～

委員長

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、また本当に暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。では、ただいまより第2回令和8年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の次第を御覧ください。議題が2つございます。議題1「令和8年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」と、議題2「令和8年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の2点でございます。

それでは、事務局より本日の資料などについて御説明をよろしくお願いいたします。

事務局

今回御審議いただく教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定された教科用図書です。特別支援教育に関する教科用図書については、児童生徒の実態に合った一般図書を充ててもよいとされているものでございます。

5月8日から5月14日までの土日を除く計5日間、県立総合教育センターにて展示会が開催され、白浜養護学校と市内小中学校特別支援学級の教員が、展示されている図書を見ながら、在籍する児童生徒の実態や次年度入学する児童生徒を想定して調査研究を行い、その結果について該当学校から教科用図書調査書が提出されております。

それでは、資料の説明をいたします。

まず、サイドテーブルを御覧ください。そちらには、「令和8年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書」と特別支援教育関係教科用図書見本の一部が展示されてお

ます。「令和 8 年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書」は、特別支援学級設置学校長及び特別支援学校長が自校の教師に調査研究させたものを簿冊としたものです。

続いて、机上の資料に移ります。「令和 8 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書まとめ」です。これは「令和 8 年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書調査書」を基に事務局でまとめたものです。

1 ページを御覧ください。この一覧表は附則第 9 条による図書を 4 つに分けて表記してあります。一覧表の右上のところを御覧ください。まず、1 つ目は「新」の文字を記載したもので、これは今回調査研究をした結果、新たに教科用図書としてふさわしいものとして提出された新規図書でございます。2 つ目は「□」の記号を記載したもので、これは昨年度採択された図書で、本年度の調査研究の結果、複数の種目において教科用図書としてふさわしいとされた図書でございます。3 つ目は「●」の記号を記載したもので、これは昨年度採択された図書で、令和 8 年度に発行者による供給が困難となった図書でございます。最後、4 つ目は無印のもので、これは、昨年度採択され、本年度も教科用図書としてふさわしいとされた図書でございます。

なお、資料 1 として、25 ページから 34 ページに新規図書と複数種目で希望のあった図書等を一覧表にしてお示ししてございます。この資料には、児童生徒一人一人の特性や発達段階を踏まえた上で、各学校が一人一人に適した教科用図書として選定した理由を記載してございます。

続きまして、23 ページを御覧ください。ただいま説明をいたしましたもののほかに、一般図書として点字教科書・拡大教科書がございます。また、令和 8 年度使用小学校用教科用図書、令和 8 年度使用中学校用教科用図書、特別支援学校小・中学部

用文部科学省著作教科書も採択可能な教科用図書として記載してございます。

なお、特別支援学校小・中学部用文部科学省著作教科書につきましては、資料2として35ページから38ページにお示ししてございます。これは第1回の審議委員会で資料として「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和8年度使用）」をお渡しいたしましたが、この中で聴覚障がい者用として言語指導の図書と、知的障がい者用として挙げられております☆印本と呼ばれている図書でございます。

それから、一般図書を採択希望する場合の留意事項につきまして、39ページに資料3として記載させていただきました。

以上で資料の説明を終わります。

委員長 ありがとうございます。

ただいま資料について説明がありました。なお、「令和8年度使用特別支援学校及び特別支援学級用教科用図書調査書」につきましては、個人情報等の関係がございますので非公開としたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。

（ 各委員了承 ）

委員長 よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それ以外に資料等について何か御質問がある方はいらっしゃいますか。大丈夫ですか。

（ なし ）

委員長 では、ないようですので、これから審議に入りたいと思います。

新規の図書につきましては、本審議委員会が初めて審議する

場になっておりますので、慎重な審議をぜひお願いしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これから審議してまいりたいと思いますが、審議の進行につきまして何か御意見がある方がいらっしゃればお願いいたします。加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員　　よろしく申し上げます。今年度も各学校から障がいの特性や発達段階など児童生徒の実態に合わせて選定された一般図書がたくさん出されています。特別支援学校や特別支援学級に在籍する子どもたちにとってふさわしい教科書として、附則第9条によって教科書として使用できる一般図書をできる限り多く用意することが必要だと考えています。

委員長　　ありがとうございます。そのほか、御意見がある方はいらっしゃいますか。宮崎委員、お願いいたします。

宮崎委員　　私も加瀬委員と同じ考えです。今回、各学校で調査研究をした結果、教科書にふさわしいものとして新規図書や複数の種目で使いたいという一般図書が多く出されております。本校の調査の様子を見ましても、児童生徒一人一人の実態を踏まえて選定しておりました。採択の幅を広げるためにも、今までに教科用図書として採択してきた一般図書は引き続き採択し、今年度、新規の図書として出された一般図書について審議する方向がよいかと思います。

委員長　　ありがとうございます。そのほか、御意見がある方はいらっしゃいますか。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員　　私も同じように考えます。この調査書まとめに記されている複数の種目で申請のある「□」の印の図書や、今年度新たに希

望が出ている「新」並びに「新□」の図書について審議していくのがよいのではないのでしょうか。

委員長 ありがとうございます。そのほかはよろしいですか。

(なし)

委員長 それでは、ただいま御意見いただいたことを受けまして、各学校から希望が出ております一般図書について教科用図書として使用できる方向で考えていくということ、それと、これからの審議につきましては、新規の図書と複数の種目で希望が上がっている図書について審議していくということによろしいでしょうか。

(各委員了承)

委員長 では、そのように審議を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします

調査書まとめの印で言いますと、「新」と書かれている新規図書、そして、「□」の印がついている複数種目で希望が上がる図書について御意見をこれから伺いたいと思います。新規図書や複数種目で希望がある図書につきましては、No.1の国語・書写から最後、No.10の道徳までの種目に合計で75冊入っています。

審議につきましては、学校からの調査書には、どんな特性がある児童生徒にどんな教科書がふさわしいかという点が挙げられていることから、子どもたちの実態や特性という視点から御意見を伺いたいと思います。

審議していく都合上、初めに1ページ目のNo.1の国語・書写からNo.2、7ページの算数・数学までを1区切り、次に、10

ページ、No. 3 の生活・地図・社会から 15 ページ、No. 6 の図工・美術までを 1 区切り、最後に 17 ページの No. 7 の家庭・職業家庭から No. 10 の道徳までの 3 つに区切って審議を進めていきたいと考えております。図書によっては複数の種目にまたがるものがございますが、その際には、いずれのところかで御発言いただくようお願いいたします。

それでは、No. 1、1 ページの国語・書写と No. 2 の算数・数学の教科領域で申請が上がっている 29 冊の図書について御意見を伺いたいと思います。どなたか御意見がある方は挙手にてお願いいたします。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員 私は、国語・書写の教科領域で申請が上がっております 4 番、5 番について意見を述べさせていただきます。

合同出版の「コロメソッドで学ぶ ことば学習カード」は、シンプルなイラストの絵カードです。このカードを使用することで、子どもたちは視覚刺激を優先した学習を進めることができ、絵に対応する文字があることや、文字には音があることをカード操作を通して学ぶことができます。カードの大きさも児童にとって扱いやすく、興味関心を高めながら学習を進められる教材だと考えます。

小学部国語科学習指導要領の「知識及び技能」では、「言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること」という内容があり、絵カードの操作を通しながら学ぶことで児童はイメージを広げ、これらの学習内容を習得していくと思いました。また、指導者とカードのやり取りをしながらの学びを通し、思考力、判断力、表現力等、それらの聞くこと、話すことの内容にある伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことの達成にもつながると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見がある方はいらっし

やいますでしょうか。武田委員、お願いいたします。

武田委員　　私は、9番の「あいうえおノマトペぱぴぷぺぽいっと！ことばを育てるえほん」について述べさせていただきます。平仮名の濁音、半濁音、拗音の文字を分かりやすいイラストとともに、オノマトペを楽しみながら学べる工夫がされています。リズムカルな言葉で書かれていて、読み聞かせや子どもたちに音読させるのにもふさわしく、言葉が持つ良さを感じることができると思いました。

委員長　　ありがとうございます。そのほか御意見がある方。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員　　私は、国語・書写の中から3冊についてお話しさせていただきます。

まず、2番の「ひらがなことばカード2集」は、扱いやすいB6サイズです。野菜、動物、家電等様々なものがあるため、絵と言葉が表にあり、カード2枚を使って話した内容はどちらのカードのことなのか、反対に内容を考えさせる学習に使用することで、人に分かりやすく特徴を捉え、考えて話す学習をすることができます。また、表には英単語も書かれていますので、絵を見て発音を繰り返すことで英語でも覚えることができます。グループでも個別でも工夫して学べる教材だと思います。

次に、3番の「自然図鑑カード 動物カード」についてですが、リアルな絵で表現されているため、子どもにとってもどんな動物なのか伝わりやすくなっていると感じました。また、カードの裏には平仮名と片仮名で動物の名前が書かれているため、表記の違いについても学習しやすくなっています。そして、人との大きさ比べがあるので、視覚的にも想像力を広げられる工夫がされています。

次に、1番「こよみカード」では、主な祝日や行事が分かりやすい絵カードになっており、子どもが手に持って見るには全体を把握しやすく、由来等が理解しやすい解説となっています。子どもが経験してきた行事には、知ってる、自分もしたことがあるという自信につながります。これまでの経験を話すことの楽しさを感じられ、自分の言葉で伝えることの練習にもなると感じました。あまりなじみのない行事等についても興味や知識を広げることができると思います。

委員長 ありがとうございました。そのほか御意見がある方、いらっしゃいますか。武田委員、お願いいたします。

武田委員 私は、8番の「おみせやさんでくださいな！」について述べさせていただきます。動物たちが様々なお店でお買物をする絵本です。お買物という題材は、日常生活に必要な身近な言葉を身につけるために楽しく学習できる工夫がされていると思います。そして、この本も全てのページでリズムカルな言葉になっており、読み聞かせや子どもたちに音読させるのにもふさわしく、言葉が持つ良さを感じることができると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。宮崎委員、お願いいたします。

宮崎委員 私は、10番から14番の「ゆっくりていねいに」シリーズの5種のワークについて述べたいと思います。

共通していることは、段階を追って取り組むことができるように工夫されていること、文字や語句をイメージしやすいようなイラストが効果的に使用されていること、遊びの要素を取り入れながら楽しんで学べること、そして、何よりワークとしての課題が充実していて、分かる喜び、できたという達成感を持

てるように工夫されていることです。

10番の「ことばあそび1」の促音や長音、拗音などの音節を含む言葉を混合したワークシートは、まず声に出して読むことで文字の形と音が結びついて、言語力の獲得が期待できます。

11番の「ことばあそび2」は、前半69ページまでがしりとり、後半が全てクロスワードという構成になっていて、語彙を増やすことを楽しみ、言葉を使った思考力を高める効果が期待できます。

12番の「かたかなワーク」は、片仮名の文字を声に出して読む、書く、そして、次のステップとして単語を読む、書くという段階を踏んだワークが学習の定着に大変効果的だと考えます。また、文字をなぞり書きすることで、片仮名を正確に書くことが難しい子どもたちにも取り組みやすい内容だと考えます。

13番の「漢字ワーク」は、後半のたしかめワークと漢字たし算が、そのお子さんの特性に応じた学習を組み立てやすく、学び方のバリエーションが増えると考えます。加えて、なぞり書きのワークは、筆順や運筆を正しく学びながら漢字を覚えることができると思います。

最後に、14番の「読解ワーク」ですが、2語文から4語文までの読み取りを同じパターンの質問で行うことで、読解が苦手な生徒でも、既に学んだ事柄を生かしながら、混乱なく学習を進めていくことができると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかに御意見ある方、お願いいたします。武田委員、お願いします。

武田委員 私は、同じ国語・書写の領域から2冊について述べさせていただきます。

まず、6番「かたちでおぼえるあいうえお」についてです。目を引く大きなイラストは、文字の形そのものを直接印象づけ、平仮名が覚えられるように工夫がされています。書き順も言葉に出しながら練習できるように丁寧に扱われており、楽しく平仮名が理解できると思えました。

また、7番の「ドラえもんとやってみよう！ ドラえもんはじめてのひらがな」についてです。ドラえもんは、これまで生活・地図・社会の領域や英語の領域でも既に使用されています。初めて鉛筆を持って線を書いたり平仮名を書くとき、ドラえもんと一緒に学べるドリルです。シールや貼り絵などもあり、楽しみながら学べる工夫がされていると思えました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見がある方、お願いいたします。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員 私は、教科領域No.2の算数・数学の中から5冊についてお話しさせていただきます。

まず、1番の「ぴたっとへんしんプレタングラム のりもの」は、学習指導要領の「図形」にもあるように、物の形に着目し、身の回りにある物の特徴を捉えるようにするために、5つのパーツのみでの学習をしますので、集中力を養いつつ、パーツで形をつくったり、分解したりしながら、考える力をつけることができると感じました。また、何度も繰り返し学習することで、視覚的にも認識する力が高まり、図形に対する感覚や形の特徴を捉える力を育むことを期待できるのではないかと思います。

次に、7番の「初級編ステップアップ マッチングⅠ」は、スモールステップで学習できるよう、また、視覚的にも分かりやすく、指の機能や集中力の向上が大変期待できると感じます。様々な種類のシールは、子どもが興味を持つことができ、意欲

につながるので学習ツールとして有効だと思いました。

そして5番「アニメおさるのジョージとけいえほん いまなんじ？」は、子どもが好きな登場人物の1日を、絵本を読みながら時計を動かすことができる仕組みになっています。子どもが自分自身の1日と重ね合わせながらお話を読んだり、時計を手で動かしたりして、直接的に表示することで時刻に関心を持ちながら学ぶことができると思いました。

次に、4番の「音のどるとけいえほん いまなんじ？」では、とけいあわせクイズやせいかつクイズもあり、時刻や時間だけではなく、日常生活の中での時間を意識させることができます。また、針を自分で動かすときには1分ごとに動かしているという刺激が手に伝わるつくりのため、視覚と触覚を使い学ぶことができます。示した時間を1分間単位で正確に読んでくれるので、時間の単位を身につけられるよう大変細やかに工夫がされていると思いました。

最後に9番「つんでならべてちえキューブ」は、大変カラフルな色合いで、児童の興味を引くつくりになっています。10個のキューブは8種類の学習に使用できます。また、物を認識する力の育成に期待が持て、バリエーションが豊かなため繰り返し楽しみながら学習できます。また、片づけるときも、入れ子式となっているため目と手で大きさを確認しながら行うことができ、コンパクトに、そしてきれいに片づけられることは達成感にもつながると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見がある方はいらっしゃいますか。武田委員、お願いします。

武田委員 私は、算数・数学領域の5冊について述べさせていただきます。5冊全て、子どもたちの発達段階に応じて数量の基礎的、基本的な概念を理解できるような構成になっていると思いま

す。

まず、8番「知育えほん かぞえておぼえるかずのえほん」は、イラストを見ながら身の回りにあるものを楽しく数えられる絵本です。1から100までの数に対する感覚を豊かにできる工夫がされていると思いました。

続いて、6番「計算にぐーんと強くなる小学3年生」は、学習指導要領「A 数と計算」に対応しており、スモールステップで学べる工夫がされているドリルです。反復練習により、知識技能を身につけていくことができると思いました。

3番の「中学ひとつひとつわかりやすく 中1数学をひとつひとつわかりやすく。改訂版」と2番の「とってもやさしい中2数学新装三訂版」は、中1数学と中2数学の検定教科書に対応しており、どちらも丁寧な解説と基本問題が適量掲載されています。数学に興味関心が高い子どもたちにとって、分かりやすく学べ、基礎基本の定着に適していると思いました。

10番「算数文章題イメージトレーニング ワークシート2 かけ算・わり算」は、算数の文章題に特化し、文章題を解いていくために、絵を見て問題文を考える。次に、問題文を見て絵を考えるという2つの構成からできているドリルです。知識、技能とともに、思考力、判断力、表現力等を身につけるための工夫がされていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方はいらっしゃいますか。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員 私は、やはり算数・数学の領域で申請が上がっております11番から14番の喜楽研の「ゆっくりていねいに学べる どの子どもわかる算数プリント」のワークについて意見を述べたいと思います。このワークは、1シートの問題が適度な量になっており、生徒が無理なく取り組んでいくことができると思います。

また、先ほど武田委員の絵を見て問題文を考えるとという発言にあったように、こちらもイラストで分かりやすく問題が提示されていたり、ところどころにヒントが示されていたりと、生徒が集中力を継続できるよう工夫がなされています。

続いて13番です。13番は、水のかさや重さ、長さなどの単位、小数や分数などの内容が視覚的に分かりやすく扱われており、学習指導要領の「測定」の目標にある「身の回りにある長さ、体積、重さ及び時間の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、それらを測定することについての技能を身に付けられるようにする」を目指して、力の習得を図ることができる教材だと思います。

続いて、15番の「つまずきをなくす小6算数文章題【改訂版】」は、「つまずきをなくす説明(例題)」「確かめよう(練習)」「ためしてみよう(チャレンジ)」の3部構成となっており、段階的に理解を深められる工夫がなされており、ふさわしいと考えます。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、いらっしゃいますか。村田委員、お願いします。

村田委員 先ほども出ていたんですが、今、算数のところから8番「知育えほん かぞえておぼえるかずのえほん」についてですが、島田ゆかさんがイラストを描いていて、なじみのある子どもにとっては本当に魅力的だなと感じています。絵の中から身の回りにあるものを探し出して数を数えるようになっていて、これはもう子どもが集中して取り組める本当に大好きな作業だと思います。繰り返しこの本に触れることで、先ほど武田委員もおっしゃっていたと思うんですが、数の大きさの感覚が自然に身につくのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほか何か御意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(なし)

委員長 では、1つ目のパートについてはこれで終了したいと思います。

続きまして、No.3の生活・地図・社会、10ページから、15ページからありますNo.6の図工・美術までの教科領域で申請が上がっている22冊の図書につきまして御意見を伺いたと思います。この中にはほかの種目でも希望が上がっている図書がありますので、それも含めて御意見を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

では、何か御意見がある方、お願いいたします。伊藤委員、お願いいたします。

伊藤委員 私は生活・地図・社会の4番、少年写真新聞社、「危険予測シリーズ どこがあぶないのかな？3まち」についてお話ししたいと思います。イラストと写真で構成されていて、とても見やすく分かりやすい本でした。また、実生活の場面でふだん何気なくしている行動が危険につながることを視覚で伝わるころがとてもいい教材だと思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方は挙手をお願いいたします。武田委員、お願いいたします。

武田委員 私は音楽領域の1番「たいこであそぼ！ノリノリドンドンおもしろドラム 光る★音出る♪知育絵本」について述べさせていただきます。指で触って曲が流れて、曲に合わせてばちでたたくとメロディーごとに音が出る体験型の本です。音楽遊びの

活動を通して器楽の技能を身につけるとともに、音楽的な表現について楽しさを見いだすことができる工夫がされていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見がある方、お願いします。宮崎委員、お願いします。

宮崎委員 私も朝日新聞出版の「たいこであそぼ！ノリノリドンドンおもしろドラム 光る★音出る♪知育絵本」について述べさせていただきます。武田委員もおっしゃっていたように、この本は楽しんで音楽に触れることができるように工夫されています。さらに、歌とリズムに合わせて指定された色を間違いなくたたくということは、手と目と耳の感覚を使って集中して行わなければなりません。難易度が比較的低い曲から高い曲へとステップアップしながら学ぶことができます。音楽を楽しみながら、児童の意欲や達成感を養うことができると考えます。

 以上です。

委員長 ありがとうございます。では、そのほか御意見がある方、お願いいたします。村田委員、お願いします。

村田委員 先ほどの生活・地図・社会の領域のほうに戻るといえるか、こちらのお話しをさせていただきたいと思うんですけども。

 まず、1番の「こどももののなまえ絵じてん」、これは「増補新装版小型版」というふうになっているんですけども、そこについてまずお話しさせてください。これは非常に暖かい色使いのイラストで、物の名前を示す言葉と対応して描かれているとても魅力的な絵事典だと感じました。子どもの身近な分野や場面もありますし、それから動物園とか水族館といった少し行動範囲を広げた場面、あとは標識とか国旗など身の回りから探

し出していくようなものもあって、語彙とともに子どもの世界を広げてくれることと思われます。

普通版というのがあるようですが、それに比べてこの出されているものはコンパクトなのですが、内容は同じということなので、出されているもののサイズのほうが日常的に使いやすいのではないかなと思います。

それから、社会科では、身近な地域と自分の生活との関わりを学ぶことから始まり、社会の中の一員として生きる力を身につけていけます。乗り物に興味がある児童にとって、乗り物に関わる様々な体験を通して身近な社会を学んでいくということは、とても自然な流れであると思われます。そういう意味で、2番の「小学館の図鑑NEOのクラフトぶっく りったい乗りもの館」は、図工・美術の領域でも採用されているんですが、その乗り物に関するところから生活・地図・社会の領域での採用にも適していると考えていませす。

また、同じように7番の「たまひよごっこあそび絵本 スーパーのりものえほん」、これは操作ができて音が鳴るようになっているんですね。非常に楽しみながら乗り物の世界に浸ることができて、これは本当に子どもの活動意欲を高めることと思われます。

この2番、7番の乗り物の本はどちらも、例えば遠足等の実際の体験活動と併せても取扱いの工夫が図れるのではないかと考えていませす。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。宮崎委員、お願いします。

宮崎委員 私も生活・地図・社会の分野の4番の「危険予測シリーズ どこがあぶないのかな？3まち」について述べさせていただきます。先ほど伊藤委員もおっしゃっていましたが、この本

には、エスカレーターや電車のドアなどの実物写真にイラストを用いて危険な場面を表現しているので、イメージを持ちやすく、自分がそこにいるような臨場感を持って危険を感じることができます。学習したことが、まさに実生活の中に生きる教材だと考えます。そして、今後行われる校外学習ですとか、社会科で行うまち探検などの事前学習にも十分活用できると考えます。

続きまして、5番のJTB「るるぶ 地図でよくわかる47都道府県の歴史大百科」について述べさせていただきます。社会科の分野の地理と歴史を同時に楽しみながら学ぶことができるように工夫されています。47都道府県の歴史と関わりの深い史跡や寺社、博物館などが写真つきで紹介され、旅行ガイドを見ているような気持ちで楽しみながら学び、地域の特色を歴史的背景と関連づけながら捉えることができます。

同様に、6番のJTBの「るるぶ 地図でよくわかる世界の国大百科」も、写真やイラストが多用されていて、地図帳としても、統計資料としても、読み物としても、様々な使い方で学習に取り組むことができ、世界の国々に対する興味関心を高め、もっと知りたいという探究心を持たせることができると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。では、そのほか御意見ある方、お願いいたします。加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員 私も同じく生活・地図・社会の中から、3番目の「マンガでわかるよのなかのルール」についてお話しさせていただきます。この本は道徳領域も含んでいて、学習指導要領では、特別の教科道徳について「適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れるなどの工夫を行うこと」として

います。人との関わりやその場での状況理解が苦手な児童生徒にとっては、この本は一つ一つのルールが具体的に分かりやすく説明されています。また、言葉だけの説明では理解が深まらない児童生徒にとっては、簡潔に4コマ漫画でルールがまとめられており、身近なこととして理解しやすいと思いました。

委員長 ありがとうございます。では、そのほか御意見がある方がいればお願いいたします。加瀬委員、よろしいでしょうか。

加瀬委員 引き続き、図工・美術について、よろしいでしょうか。私のほうからは2冊、1番と2番についてお話しさせていただきます。

まず最初に、2番についてお話しさせていただきます。2番の「おやこのファーストステップ すいすいぬってみよう」についてお話しします。この本はコンパクトなサイズで、色塗りとともに、ページをめくる際の手指の訓練も伴っていると思います。単純な直線で色塗りができる図形から、曲線に合わせて色塗りをする難易度の高い図形まで、段階を追って進められており、形に合わせて色塗りをするという難易度の高い作業を楽しみながら行うことができると思います。また、使用する色や絵の名前も記されていて、集中して作業を行うことや丁寧に作業を進めていくことを課題としている子どもたちにとっては取りかかりやすく、1回の作業が簡潔で分かりやすく良いと思いました。

1番目の「こうさく1 はじめてのはさみ」についても、引き続きお話しさせていただきます。手指の訓練中の子どもたちにとっては、楽しみながらスモールステップで課題に取り組むということが重要だと考えます。この本は、短い直線を繰り返してはさみで切ることから始まり、最終的には曲線や円も併用しながら、自ら切り出して完成させた作品で遊ぶことができる

いう仕組みになっています。学習を進める上で大切な楽しさと達成感を味わうことができ、また、やる気を誘う仕組みがあると思います。進捗を実感できるシールや、完成後の賞状もついていて、とても良いと思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員 同じく図工・美術より、2冊について述べさせていただきます。

4番「NHKノーゾーのひらめき工房 レッツ！工作どうぶつえん」では、身近な素材を使っていますが、それぞれの素材を生かした工作となっています。そのため、子どもにとっては、作品例から「できる」という印象を最初に持ち、取り組むことができるため、さらに表したいことを想像しやすく、工夫をしてみようという意欲につながることを期待できると感じます。

次に、「きむら式おもしろ造形タイム」では、身近にあるもので作品をつくることへの安心感があります。また、道具を使うだけではなく、手を使ってじかに塗る、貼る、つくる活動は、表したいことを活動の中で思いついたり、見方を広げたりすることができ、楽しいだけではなく、豊かな情操を培うことができると感じました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員 私は、生活・理科の領域について意見を述べさせていただきます。

4番の「こどもぼうさい・あんぜん絵じてん」は、交通安全から防災、防犯まで様々な事柄がオールカラーで取り上げられ

ています。生活の学習指導要領の内容には「危ないことや危険な場所等における安全に関わる初歩的な学習活動」が取り扱われており、この教材は、安全に関わる初歩的な知識や技能を身につけることに効果的だと思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見がある方、お願いいたします。武田委員、お願いいたします。

武田委員 私も生活・理科領域の2冊について述べさせていただきます。どちらも、先ほど佐々木委員が述べられた4番と同様に、オールカラーのイラストで構成されており、視覚的に情報を捉えられるよう工夫がされています。

3番「こどもきせつのぎょうじ絵じてん第2版」は、既に小型版が使用されていますが、こちらは大きくて見やすいと思います。日本の伝統的な年中行事がイラストとともに子どもたちの素朴な疑問に答えられるように工夫されています。かぐや姫のお話や童謡などの分かりやすい内容から、知識を広げることのできる二十四節気の暦のお話まで、様々な発達段階の幅広い子どもたちが興味を持って読める本だと思いました。

続いて、6番「小学館の子ども図鑑プレNEO 楽しく遊ぶ学ばせいかつの図鑑」についてです。衣食住の基本や生活の中で伝承されている知識や技が、イラストや写真とともに丁寧に描かれている図鑑だと思います。子どもたちがやってみようという気持ちになり、生活の自立に向けて楽しく取り組めるような工夫がされていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見あればお願いいたします。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員 先ほど4番について意見を述べましたが、同じ領域、5番と

8 番についても意見を述べたいと思います。5 番「小学館の図鑑 N E O のクラフトぶっく 新りったいさかな館」、8 番「じぶんでよめるこんちゅうずかん」は、どちらも身近にある生命や自然への関心を高める内容になっています。8 番は、写真やリアルなイラストがたくさん掲載され、興味関心を高めながらページをめくる児童の様子が想像できます。また、解説が平仮名で書かれているので、自分で本を読む楽しさも味わうことができると考えます。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見をお願いいたします。
村田委員、お願いいたします。

村田委員 生活・理科の領域の中で植物に関するものも挙げられているのでそこから、2 番の「はっけんずかん しょくぶつ」は、植物のつくりや成長の様子が分かる楽しい仕掛けがいろんなところに見られまして、子どもの興味をそそります。季節ごとに身の回りで発見できそうな花や植物が描かれています。また、絵だけではなく写真も、きれいな写真が載っているので、実際の観察のときに比べることができて、とても使いやすいと思いました。

それから、理科では、時間をかけて自分で植物を育ててその様子を観察するというのも行うのですが、大事に育てていった先に収穫の喜びがある野菜、これは特に子どもが関心を持ちます。また、野菜を育てることをきっかけに、育てるだけではなく、食べることも含めて、ほかの野菜にも興味を持つことが多いです。

9 番の「めくりしかけえほん いろんなやさい」には、16 種類の野菜が描かれていて、そんな子どもの知りたい気持ちを満たしてくれそうです。見開きの左側に、畑に植えられている朝の様子とか花や葉っぱが描かれていて、土の中になっている

様子も書かれています。それから、右側のページには仕掛けがあって、半分めくると中の様子が分かるようになっています。めくるところも含めて、この本自体がかなり厚い紙でつくられているので、何度もめくることができて、興味を持って繰り返し学習を楽しむことができると思いました。

それから10番の「たべもの・食育絵本1 野菜の教え春・夏編」、こちらですが、これはダイナミックな写真が目を引きまして、子どもの興味が高まります。巻末にたくさん参考文献が掲載されていたのですけれども、それぞれ野菜についていろいろな視点から正しい情報を記述しようという編修の姿勢が見て取れると思いました。後書きも読んでみたのですが、子どもと大人が一緒に楽しめる食育絵本をイメージしたようです。それぞれの野菜に関する記述は端的で、平易な言葉、易しい言葉で書かれていて、知的好奇心が刺激されます。集中して、次は？次は？というふうにページをめくる子どもの姿が想像できるような本だと思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ございますでしょうか。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員 村田委員からも御意見ございましたが、2番の「はっけんずかん しょくぶつ」について意見を述べさせていただきます。こちらは写真と精密な絵で構成されていますので、校庭や公園で見ている植物の様子とつながり、子どもがイメージしやすくなっています。また、畑で野菜を育てたり、花壇で花を育てたりする学習を行っていますが、学習指導要領の生活科にも記されていますように、活動を通して変化や特徴に関心を持ったり、比べたり、例えることで多様な学習活動を行うことに大変有効であると感じます。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方はお願いいたします。村田委員、お願いいたします。

村田委員 同じ理科の7番なんですけれども、「やさしくわかる小学生の理科図鑑」、こちらは小学校理科の単元が網羅されていて、調べたいときに調べたいことを見つけることができるものだと思います。授業の中で繰り返しこの本を開く姿が想像される、利用価値が非常に高い本なのではないかなと思います。分野別に章立てがされているので、学年内だけではなく学年を超えた学びができ、読みながら系統的に科学的なものの見方、考え方を養うことができ、学びの深まりが期待できると考えました。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員 私は、1番の岩崎書店の「めくってわかる！ひとのからだ」についても意見を述べさせていただきたいと思います。この本は、体育・保健体育の教科領域でも申請が上がっております。この本は、ページをめくるごとに体のいろいろな部分が表れる構成で、感触でも楽しめる工夫が施されています。児童が興味関心を高めながら、人の体のつくりについての知識を習得できるようになっています。このような点から、生活・理科の領域で使用するのにふさわしいと思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか、何かございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

委員長 それでは、ここで10分間ほど休憩を取りたいと思います。

事務局より連絡があればお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、10分間の休憩を取りますので、お席には14時30分頃に御着席いただければと思います。33分から審議を再開させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

午後2時23分休憩

午後2時34分再開

委員長 では、審議を再開したいと思います。よろしくをお願いいたします。

最後に、No.7の家庭・職業家庭からNo.10の道徳の教科領域で申請が上がっております24冊の図書につきまして御意見を伺いたいと思います。先ほどの教科領域で申請されている図書も含まれておりますので、加えて御意見等ありましたらよろしくをお願いします。それでは、御意見がある方、挙手をお願いいたします。佐々木委員、よろしくをお願いいたします。

佐々木委員 私は体育・保健体育の領域で意見を述べさせていただきます。

1番「めくってわかる！ひとのからだ」は、先ほど生活・理科の教科領域でも申し上げましたが、こちらの領域でも申請が上がっております。先ほど申し上げましたように、ページをめくるとに体のいろいろな部分が表れる構成や、感触でも楽しめる工夫が施されており、児童が興味関心を高めながら人体のつくりや健康な生活に関する基本的な知識を習得できると考えます。

続いて、2番「こどもからだのしくみ絵じてん小型版」は、体の部分や機能によって章分けがされており、それぞれの仕組みや働きが楽しいイラストで紹介されています。体育科、学習

指導要領の目標にあります「健康な体の変化について知り、健康な生活ができるようにする」の達成に向けて効果的に活用できる教材だと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、いらっしゃったらお願いいたします。村田委員、お願いいたします。

村田委員 同じ体育のところで4番「からだ・あいうえお」、こちらは生活・理科の教科書として既に採用されているようですが、体のことだけではなくて、病気とか病院での検査、治療に関する言葉も載っています。そういったところから体育・保健体育の教科領域でも活用にあふさわしいと考えています。イラストが柔らかいタッチで自然とページをめくりたくなり、リズムカルな言葉も相まって何度も読みたくなるような本で、自然といろんな知識が身につくような学びが期待できると思います。

それからもう1冊、「うみとりくのからだのはなし」、自分の体だけではなくて心や体を大事にするということは、他者を尊重し、多様性を認めるということとともに、子どもの中に育てたいものとして、今様々なところで注目されています。この本は、2022年が初版の比較的新しい本のように、そういった意味で今日的教育のニーズに合った教科書となり得るのではないかと思います。この本では、自分の気持ち、自分の体、他者の気持ち、他者の体、どちらも大事にする、「うみ」と「りく」という双子のストーリーが無駄な言葉を削ぎ落としたやさしい文章で書かれていて、後半からはプライベートパーツという言葉が何度か使われていて、子どもにとっては、その新しい言葉の学びが本質的な学びにつながるのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。武

田委員、お願いいたします。

武田委員　私も3番「うみとりくのからだのはなし」について述べさせていただきます。保健体育の学習として体の発育、発達について理解することができるとともに、日常生活の中で人との関わりについて正しい知識を持つことができ、子どもたちが自立に向けて学ぶことができる内容であると思いました。

委員長　ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。村田委員、お願いいたします。

村田委員　では、英語のほうに行ってみたいと思うんですが、2番の「ABCのえほん」、こちらはいもとようこさんの絵がとても美しく、子どもにとっては絵本でなじみのある親しみやすい絵だと思うんですが、そのいもとようこさんの絵が描いてある英語の本になっています。英単語の発音は片仮名で書かれていて、アクセントが太字で示されています。英語の入門期には取りかかりとして入りやすい工夫がされていると思いました。

4番の「ポケモンえいごじてん」、これはもう本当に言わずと知れた子どもたちに大人気のキャラクターなんですけれども、このポケモンがふんだんに描かれていて、子どもがわくわくしながら英語を学べるようになっていきます。基本的な単語のほかに、挨拶とか簡単な会話のページもあって、ポケモンの楽しそうな雰囲気から、子どもが英語を使ってみようという気持ちになるのではないかと思いました。

委員長　ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員　私も英語の領域から2冊、5番と3番についてお話しさせて

いただきます。

まず、5番の「おうちレッスンえいご1 リズム♪でおぼえるフォニックスアルファベット」は、言語活動の聞くこと、話すことのうち文字の発音を聞いて文字と結びつける活動の点から、実際にアルファベットやイラストを見ながら、その文字の入った単語を発音することで、五感を生かしながら言語習得へとつなげることができると思います。また、直線や曲線の運筆練習やイラストの色塗りの作業も入っており、子どもたちの発達段階に合わせて目標、課題の設定も細かくすることができると思います。

そして、3番の「えいご2 やさしいアルファベット」についてですが、外国語の指導の内容としては、日本と外国の言語や文化に親しむことや、英語を聞いたり話したりして言語活動を行うことがあります。また、書くこととして、身近なことを表す文字を書くことや、自分の名前を書き写す活動もあります。このような目標の中で、この本は身近なもののイラストとともに、アルファベットが書かれていて、小文字で名前を書くことが無理なく進められるような構成になっています。また、自分の名前を英語で書きたいという子どもたちにとっては、書き順や鉛筆の運び方が丁寧に記されていて、練習がしやすいと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。伊藤委員、お願いいたします。

伊藤委員 道徳について、6番の「チューくんといっしょせいかつのおはなし」、主人公の1日の流れに沿ったお話で、主人公と同じ動作をしてみようなど、本と一緒に同じ動作を促せるので、日常生活の動作を絵本を通して伝えやすいのではないかなと思いました。

委員長 ありがとうございました。そのほか御意見がある方、村田委員、お願いいたします。

村田委員 英語のほうに戻ってしまうのですが、英語の1番「ペンがおしゃべり！ 小学えいご絵じてん800新装三訂版」というものなんですけれども、こちらは音声ペンがついています。読む学習だけではなく、その音声ペンを使って聞く学習もできる教材になっています。子どもが楽しみながら自主的に英語の学習を継続する姿が期待できるのではないかと思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。武田委員、お願いします。

武田委員 私も1番「ペンがおしゃべり！ 小学えいご絵じてん800新装三訂版」について述べさせていただきます。音声ペンを用いて英語の発音や単語の意味を聞くことができる絵じてんは、分かりやすいイラストで描かれていて、楽しく学習に取り組める工夫がされています。学習指導要領の「外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする」という目標に合っていると思いました。また、2冊のワークブックは、書くことの学習もできる構成になっており、子どもの発達段階に応じて活用できる内容であると考えます。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。宮崎委員、お願いいたします。

宮崎委員 家庭・職業家庭の領域で挙げられています図書について述べさせていただきます。

まず、8番の汐文社の「かんたん15分！火も包丁も使わない魔法のレシピ 1まんぷくごはん」は、手順が簡単で作業における危険も少ないことから、学校だけではなく家庭でも実践することができそうです。親子ですとか兄弟姉妹で会話をしながら共同作業を行うことも期待できて、自分で食べるものを自分でつくる喜びですとか満足感を得られる体験から、家庭・職業家庭分野の目標にも迫ることができ、将来の社会的自立に向けた準備として効果的であると考えます。

続いて、戻りまして7番のあすなろの「テーブルマナーの絵本」ですけれども、動物のイラストがかわいらしくて、目にも心にも優しい絵本です。日常生活の中の食に関するマナーが、物語の進行に合わせて学べるように組み立てられていまして、食事に対する興味関心の高い児童生徒だけではなく、食に対する苦手意識のある児童生徒や、ほかの人と食事することにちょっと抵抗感がある児童生徒にも取り組みやすいと考えます。

続きまして、5番のチャイルドの「チャイルドブックこども百科 くらしとぎょうじのせいかつ図鑑」ですけれども、目で見て分かるよう工夫されていて、義務教育段階で身につけておきたい衣食住の基本的な知識、マナー、基本的な生活習慣を学ぶことができます。また、内容の構成が、将来の生活自立、職業自立につながるように整理されていて、体験を通じた学びにつながると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員 よろしく申し上げます。私も、家庭・職業家庭から4冊ほど、お話しさせていただきます。

まず、2番目の「こどもせいかつ百科」についてです。この

本は、朝起きてから夜寝るまでの日常生活が、自立について、そして社会でのルールやマナーについてを1日の流れに合わせてイラストを用いながら分かりやすく説明しています。片仮名へのルビ振りもあり、生活面での自立を目指す子どもたちに適していると思います。

次に、3番の「マンガでわかるよのなかのルール」についてお話しをいたします。これは先ほど生活・地図・社会の中でも挙げられていましたが、人との関わりが苦手だったり現場の状況理解が苦手な子どもたちにとっては、この本は一つ一つのルールが具体的に分かりやすく書かれているので、言葉だけの説明では理解が深まらない子どもたちにとっては、簡潔にルールがまとめられていて身近なこととして理解がしやすいと思います。

続きまして、1番の「学校では教えてくれない大切なこと (6) 友だち関係 友だち関係 (気持ちの伝え方)」についてお話しいたします。日常生活や学校生活の中で人間関係を構築していく上で、うまく自分の気持ちを伝えられなかったり、相手の気持ちを十分に理解できず、トラブルを抱えてしまうケースが増えているように思います。特別支援学校の学習指導要領でも、人間関係の形成については、他者との関わりや自己理解、集団への参加の基礎に関することが記されています。その点においても、この本は具体的な日常の場面やエピソードを基に、注意や解決方法が漫画を用いて分かりやすく述べられている構成になっています。とても使いやすいと思います。

そして、6番の「ひとりだちするための進路学習」についてです。学習指導要領では、「職業分野」、「職業生活」の中で働くことの意義や職業について、学習の取組や考えを深めたり、体験する学習について記されています。この本は、支援学級、支援学校に在籍する子どもたちが、進路学習を進めていく際に取り組みたい高等学校への入学試験の面接や卒業後の就職活動も

含めて、自ら将来設計を立てていく上で課題となる点を成長段階に合わせて取り上げ、自ら考えるように内容が設定され、構成されています。子どもたち一人一人が卒業後の進路学習を行う上でとても役に立つと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。宮崎委員、お願いいたします。

宮崎委員 同じく家庭・職業家庭の領域ですけれども、4番の成美堂出版の「いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典」について述べさせていただきます。写真やイラストが効果的に使用されていて、ページを開いて実際にやってみるための手順がとても分かりやすく示されています。職業家庭の分野では、将来の家庭生活や職業生活に必要な知識、技能を体験的に学んで将来自立して生きる力を身につけることが重要視されておりますが、その点からも、この本は、中学校を卒業した後にも継続して活用することができて、大変実践的な学習を行うことができると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員 宮崎委員からも、4番の「いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典」についてお話しがございましたが、私からもこちらの本について意見を述べさせていただきます。この本は、家事全般について大変丁寧に記されていますが、御近所との付き合い方やマナーについても記載されております。人との関わり方を学び、コミュニケーションを豊かにすることは、子どもたち

が社会で生きていく上で大切なことです。そのため、社会性も身につけられる効果があると思います。

以上です。

委員長 そのほか御意見がある方、お願いいたします。加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員 では、道徳の領域からお願いいたします。2番に記されている「あーんあーんあーん」についてお話しをいたします。この本は、楽しい食事の場面で相手にしてあげる役割を意識しながらシールを貼り、絵本を完成させることができます。絵本に出てくる人や動物の顔、体に食べ物を、また、グッズのシールを自由に貼ることで、楽しみながらおままごとのような感覚で、人のために何かをする疑似体験ができると思います。また、カラフルな色合いを楽しみながら、的確な場所に的確なシールを貼ることで、手指の訓練にもなると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。堀部委員、お願いいたします。

堀部委員 では、道徳の中から2冊についてお話しさせていただきます。まず、6番「チューくんといっしょせいかつのおはなし」では、生活習慣を身につけるための内容が丁寧に記されているだけでなく、保護者へのアドバイスも書かれているため、教員も、指導の際のポイントとして、よりよい指導や言葉がけに役立てることができると思いました。それが、子どもが安心して学ぶことにもつながると思います。チューくんを自分自身に置き換えるだけでなく、動物の友達が違うように、自分の周りの友達もそれぞれみんな違うことに気づくきっかけにもなり、柔軟に物事を捉えられるようになると配慮されていると思います。

次に、「こどもせいかつずかん ひとりでできるよ!」では、毎日の生活の中での一つ一つを丁寧に易しい言葉で、子どもが納得できる、また、我が子にこうなってほしいという保護者の願い、衣食住に関わるものからマナーと、幅広い内容になっています。クイズのように中抜きにして言葉を入れて学習できるようにもなっているので、子どもの興味関心を高められ、子どもの将来を含めて、周りの人と互いに気持ちよく生きていくための大切な1冊になると感じました。

委員長 ありがとうございます。そのほか御意見ある方、お願いいたします。宮崎委員、お願いいたします。

宮崎委員 道徳の領域で3番の「チャイルドブックこども百科 暮らしとぎょうじのせいかつ図鑑」ですけれども、こちらは先ほど家庭・職業家庭の領域でも述べさせていただきましたが、実生活をイメージしながら社会生活を営む上での基本的な知識、マナー、生活習慣を学ぶことができますので、特別の教科道徳の道徳的な価値観を習得するためには、効果的な内容であると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員 同じく道徳の領域から、「やさしくわかるきもちのえほん じぶんのきもちともだちのきもち」についてお話しをします。学習指導要領では「自立活動」の内容の一つとして人間関係の形成について記されています。この本は、家族という小さな社会から、家族以外の少し大きな集団に所属したときの友達との関わりや気持ちの表現の仕方について、子どもの視点で分かりや

すく説明されています。様々な経験が積み重ねられていく中で、家族だけの関係から、ほかの人との関わりの中で経験をする気持ち、相手の気持ちに関して関心を持つことの大切さ、経験を促していると思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。では堀部委員、お願いします。

堀部委員 道徳の5番「こころのふしぎたんけんえほん」についてですが、心は目に見えませんが、口調や表情等で人を元気にもできれば不愉快な気持ちにさせてしまうことについても、望ましい関わり方を繰り返し学んだり、自分自身の気持ちだけでなく第三者として表現されていたりするため、自分がという視点だけで物事を考えるのではなく、違ったものの考え方やアドバイスがあるので、相手の気持ちに気づいたり、柔軟に物事を考えたりできる、幅が広がることにつながる工夫がされていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。では加瀬委員、お願いいたします。

加瀬委員 では引き続き、道徳の4番に上げられています「特別支援教育をサポートする 暗黙のルールが身につくSSTカード教材集」についてお話しをいたします。先ほどもお伝えしましたとおり、学習指導要領の「自立活動」で記されている、他者との関わりや集団への参加に関する基礎については、学齢期に丁寧に取り組むべきことだと思います。人間関係や社会性に課題がある子どもたちにとって、学習すべき具体的な言葉や日常の場面をカードで表すことで、身近な行動例として汎化することが期待できると思います。そして、抽象的な表現が苦手な子ども

たちにとっては、言葉の裏側にある意味や表現を発達の段階に合わせて丁寧に解説がされていて、カードの活用がとても期待できる本だと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほか、何か御意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

委員長 では、様々な御意見を本当にありがとうございました。
ここまで一般図書につきまして皆様の意見を伺ってまいりましたが、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は、「●」の発行者による供給が困難になった図書を除いて、引き続き使用できるということ、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書はいずれも適切であるということで、皆様、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

委員長 それでは、ほかに意見がないようですので、議題1「令和8年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」の審議につきましてはここまでとしたいと思います。

続きまして、議題2「令和8年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の審議を行いたいと思います。

前回の答申は、特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書に関する審議結果については、一般図書についての総括的な考えを答申として示し、会議録を添付資

料としておりました。今回の答申をどのような形にするか、御意見をお伺いしたいと思います。御意見がある方、よろしくお願いいたします。村田委員、お願いいたします。

村田委員　　今回も前回と同様の形がよろしいかと思えます。前回の答申や会議録を拝見しましたが、それぞれの一般図書について審議された上で、それを踏まえて総括した考えを答申としていました。

委員長　　ありがとうございます。そのほか御意見がある方はいらっしゃいますか。佐々木委員、お願いいたします。

佐々木委員　私も先ほどの村田委員の意見に賛成です。新規のものや複数種目で申請のある一般図書について様々な意見が出されましたが、先ほど委員長がまとめてくださったように、どの図書についても適切であるという同様の趣旨の意見だったと思えます。審議の結果を前回のように委員の皆さんの意見を総括的にまとめたものを答申とし、参考として会議録を添付するのがよいと思えます。

委員長　　御意見ありがとうございます。それでは、答申につきましては審議の内容を総括的にまとめたものとし、会議録については参考に添付するという御意見をいただきましたが、その方向で、皆様、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

委員長　　ありがとうございます。それでは、答申につきましては、本日開催しました「令和8年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書について」の審議の内

容を審議の結果として総括的にまとめ、答申するとともに、資料として会議録を添付することといたします。

改めて、議題2「令和8年度使用藤沢市教科用図書に関する審議結果の答申について」の確認をいたします。審議の結果として、子どもの実態や発達段階に応じて幅広く一般図書の採択が可能となるように、昨年度まで採択されている一般図書は「●」の発行者による供給が困難になった図書を除いて引き続き使用できるということ、今回審議を行った教科用図書として使用したいと考えている新規図書や複数種目で希望のある一般図書は、いずれも適切であることと考える旨をまとめて答申したいと考えております。皆様、いかがでしょうか。

(各委員了承)

委員長 ありがとうございます。それでは、議題2についての審議を終了いたします。

これで予定されていた議題に関する審議は終了しましたが、全体を通して皆様から何か御質問、御意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

委員長 それでは、事務局から何かございますか。

事務局 はい。ありがとうございました。それでは、今後の予定について説明をさせていただきます。

事務局といたしましては今後本審議委員会の会議録を作成いたしますして、審議委員長に確認をしていただきます。審議委員長におかれましては、ただいまの審議結果を踏まえて答申を作成していただき、会議録を資料として添付していただきます。

その後、審議委員長から教育長への答申を行うこととなりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

委員長

ありがとうございます。

それでは、これをもちまして全ての審議が終了いたしましたので、第2回令和8年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。